

平成 2 1 年度実績評価書要旨

評価実施時期：平成 2 1 年 8 月

担当部局名：社会・援護局 援護企画課外事室

<p>施策名</p>	<p>戦没者の遺骨の収集等を行うことにより、戦没者遺族を慰藉すること (VII-5-2)</p>	<p>政策体系上の位置付け 基本目標 VII 利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること 施策目標 5 戦傷病者、戦没者遺族、中国残留邦人等を援護するとともに、旧陸海軍の残務を整理すること</p>
<p>施策の概要</p>	<p>戦没者遺族の慰藉を目的として、戦没者の遺骨収集等の迅速かつ適切な実施、慰霊巡拝、慰霊友好親善事業の着実な実施及び慰霊碑の適切な維持管理等を行う。</p>	
<p>施策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p>【評価結果の概要】 【現状分析（施策の必要性）】 戦没者の遺骨については、相手国の事情や海没その他の自然条件等により収集できない地域が残されているという事情はあるものの、未だ多くの海外戦没者遺骨が海外に残されていることから、遺骨収集の促進に努めている。しかしながら、戦後 60 年以上が経過し、遺骨等の所在に関する情報が減少するとともに、戦没者の遺族の高齢化が進んでいることから、これらの施策を、より迅速かつ着実に実施することが求められている。そこで、南方地域においては、集中的な情報収集を行うとともに、ソ連抑留中死亡者の遺骨収集については、平成 3 年に日ソ両国間で協定が締結されて以降に実施した一次調査で再調査が必要とされた埋葬地について、現地の事情に詳しい関係者の調査同行等の協力をロシア政府に求めており、迅速な遺骨収集の実施に努めている。 硫黄島等全 15 箇所に建立した戦没者慰霊碑は、戦没者遺族の慰藉上重要なものであり、今後も適切に維持管理を行う必要がある。これらについては、それぞれ建立地の関係機関等と維持管理に関する委託契約を締結し、維持管理が適切に行われるよう努めている。 【有効性の観点】 戦没者遺族の慰藉のためには、戦没者の遺骨を収集して遺族に引き渡すことや、旧主戦場地域において遺族が慰霊を行うことが望まれており、このためには、遺骨収集事業をできる限り推進するとともに、慰霊巡拝事業については遺族が参加しやすい仕組みを整備することが必要である。 遺骨収集については、外交努力により収集の促進に努めているほか、NPO 法人等の協力を得た情報収集を実施する等により実績を上げており、また、慰霊巡拝については、参加遺族決定の手続を弾力化して遺族を参加しやすくしたことから、いずれも施策目標の実現に有効であると評価できる。 【効率性の観点】 遺骨収集等事業について、南方地域においては、平成 18 年度から実施している海外未送還遺骨の集中的な情報収集を行い、これに基づく収集を行うとともにソ連抑留中死亡者の遺骨収集についても、収集可能と判断された埋葬地につき、計画的に収集を実施しており、効率的に行っているといえる。 【総合的な評価】 戦没者の遺骨収集や、慰霊巡拝、慰霊友好親善事業の着実な実施等により、特に遺骨収集数が前年度から大幅に増加するなど、戦没者遺族の慰藉という目標の達成に向けて進展があった。 平成 20 年度においては、慰霊巡拝については全 14 回、遺骨収集等事業については全 26 回実施し、遺族の慰藉に進展があったことから、今後も着実に実施していくこととしたい。 【評価結果の分類】 i 施策目標の終了・廃止を検討（該当する場合に○） ii 施策目標を継続（該当する場合に次のいずれか 1 つに○） （イ）施策全体として予算規模の縮小等の見直しを検討 （ロ）見直しを行わず引き続き実施 （ハ）施策全体として予算の新規要求、拡充要求等の見直しを検討 iii 機構・定員要求を検討（該当する場合に○） （理由）遺骨収集に関しては、平成 18 年度から南方地域に関して「海外未送還遺骨の情報収集事業」を実施し、現地情報を積極的に収集する体制を確立し、遺骨収集の促進を図っているところである。また NPO 法人等民間団体との連携強化に努めた結果、収集実績があがってきたところである。しかしながら、未だ多くの遺骨が残されている現状にあり、遺骨収集の推進に向けて予算の大幅増額や体制の整備など、さらなる強化策を検討しているところである。 【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p>	

施策目標に係る指標 (達成水準／達成時期) ※【】内は、目標達成率(実績値／達成水準)						
		H16	H17	H18	H19	H20
1	遺骨収集数(単位:柱) (過去5年間の平均収集数以上/ 毎年度)	1,151 【57%】	604 【33%】	640 【38%】	760 【60%】	2,038 【230%】

(調査名・資料出所、備考)

指標1は、社会・援護局援護企課外事室調べによる。

参考統計						
		H16	H17	H18	H19	H20
1	遺骨収集等事業の実施数(単位: 回)	35	27	26	27	26

(調査名・資料出所、備考)

指標1は、社会・援護局援護企課外事室調べによる。

	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)
関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	なし		